

今夏の需給状況のご報告について(8月末時点)

平成23年9月13日
関西電力株式会社

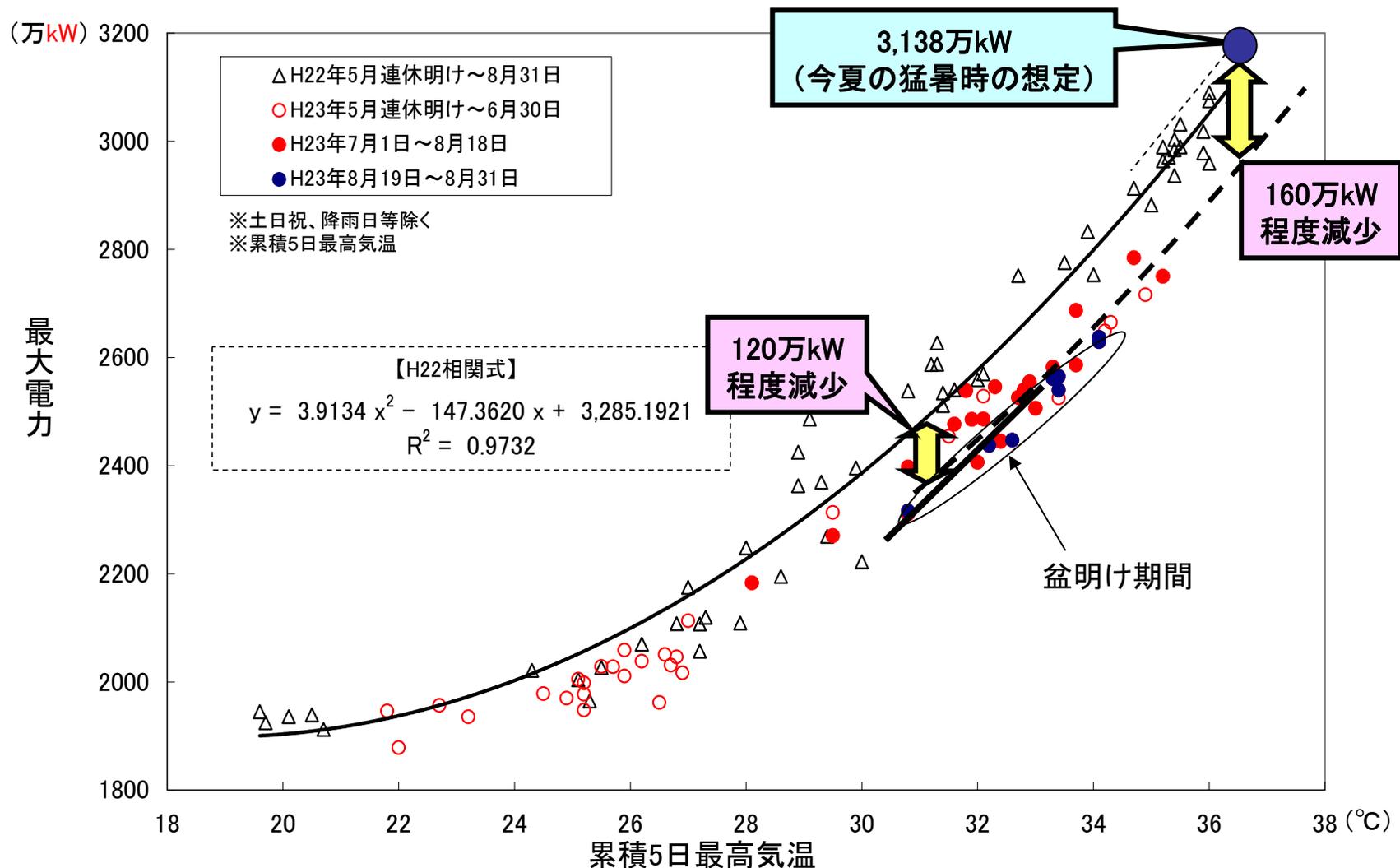
節電のご協力へのお礼

弊社はお客さまに、厳しい需給状況のなかで供給力不足による停電を回避するため、7月1日から9月22日の間、節電をお願いし大変なご不便とご迷惑をおかけしております。

現在も弊社では、定期検査中の原子力プラントの再起動に全力をあげるとともに、供給力確保に向けた取組を継続しておりますが、皆様のご協力のおかげで、これまでのところ安定した需給状況を確保できております。

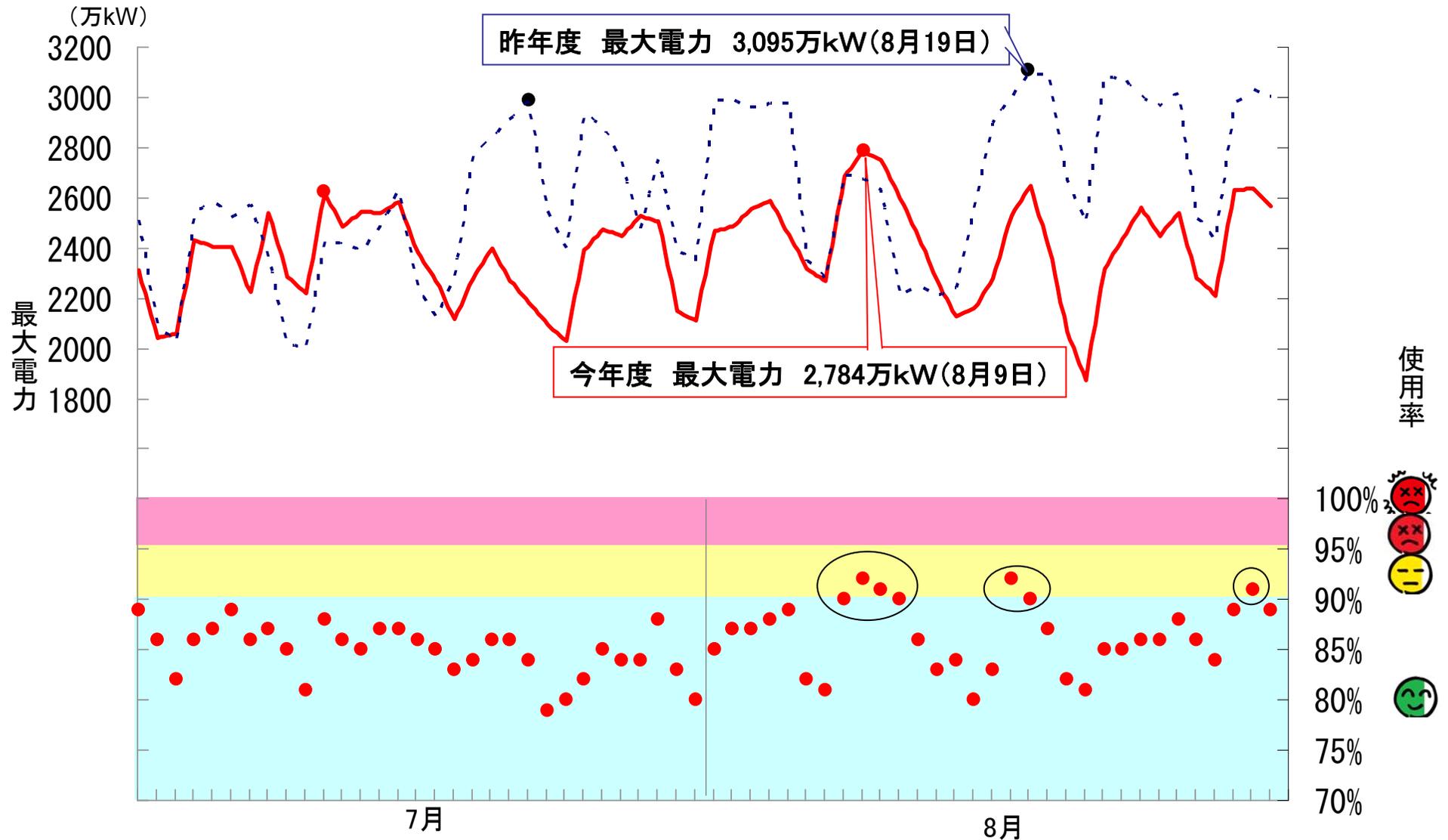
ご不便とご迷惑をお掛けしておりますことを改めてお詫び申し上げますとともに、ご協力に対し厚くお礼申し上げます。重ねて引き続き節電へのご協力をお願い致します。

7月～8月末までの節電効果の分析



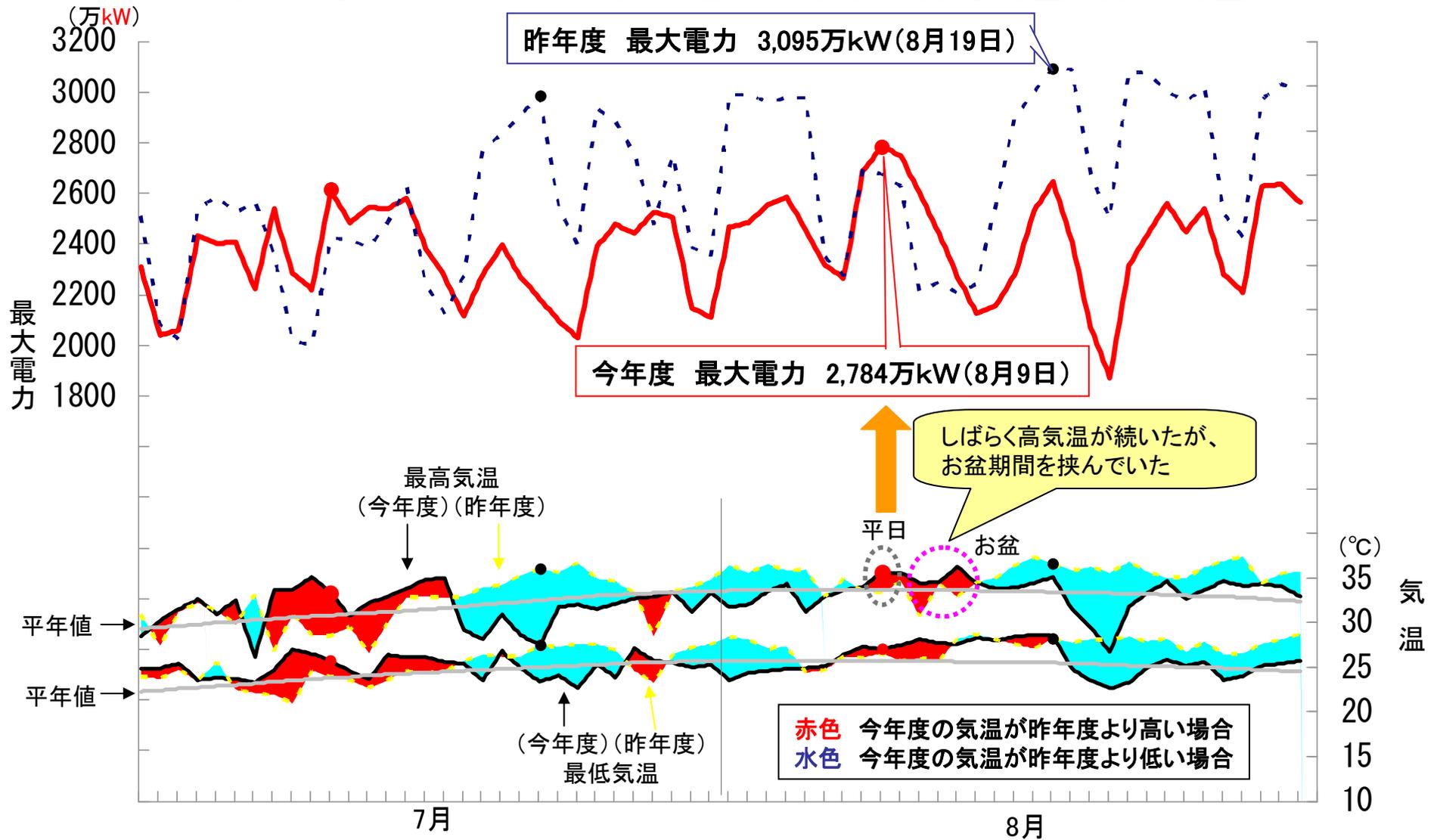
- 8月末までの実績では昨年と比べて120万kW程度減少しています。この傾向が高気温帯でも続いたとすると、今夏の猛暑時の想定需要3,138万kWからは160万kW程度の減少が見られました。
 (盆明け期間は低水準で推移したことにより、昨年からの減少幅が7月20日に発表した100万kWから120万kWに拡大しています。)
- 8月31日までの実績に基づく暫定的なものですので、今後、引き続き分析を行ってまいります。

7月～8月末までの日々の最大電力の推移とでんき予報での使用率



- ・昨年度の最大電力に比べ、今年度の最大電力は2,784万kWと大幅に下回りました。(使用率94.5%)
- ・でんき予報については、黄色マーク(使用率90%以上～95%未満)7回に留まり、一斉メール等での緊急のご連絡(97%超)も実施しませんでした。

7月～8月末までの日々の最大電力の推移と最高気温・最低気温



・今年度は、皆様方に節電のご協力をいただいたことに加えて、気温が昨年度より低めで推移したため、日々の最大電力は昨年度を概ね下回りました。

・8月には高気温が長期間連続した期間もありましたが、お盆期間を挟んでいたため、最大電力は2,784万kWにとどまりました。

7月～8月末までの大阪の気象状況

◎気温

(°C)

H23年7月		平年差	前年差
平均	27.9	+0.5	±0.0
最高	31.7	+0.1	▲0.3
最低	25.0	+0.7	+0.2

(°C)

H23年8月		平年差	前年差
平均	28.9	+0.1	▲1.6
最高	33.4	±0.0	▲1.8
最低	25.8	+0.4	▲1.4

- ・今年の気温は平年より高めでしたが、昨年ほど高くはありませんでした。
- ・特に8月は昨年を大きく下回りました。

◎猛暑日(最高気温35°C以上)

(日)

	7月(平年値:2.9日)				8月(平年値:7.9日)			
	上旬	中旬	下旬	計	上旬	中旬	下旬	計
H22	0	0	4	4	5	5	10	20
H23	1	1	0	2	2	2	0	4
平年差	—	—	—	▲0.9	—	—	—	▲3.9
前年差	+1	+1	▲4	▲2	▲3	▲3	▲10	▲16

- ・猛暑日で見ると今年は平年より少く、昨年と比べても大幅に減少しました。

◎熱帯夜(最低気温25°C以上)

(日)

	7月(平年値:12.9日)				8月(平年値:19.8日)			
	上旬	中旬	下旬	計	上旬	中旬	下旬	計
H22	2	2	9	13	8	10	11	29
H23	3	7	6	16	5	8	7	20
平年差	—	—	—	+3.1	—	—	—	+0.2
前年差	+1	+5	▲3	+3	▲3	▲2	▲4	▲9

- ・熱帯夜で見ると今年は平年より若干多かったものの、昨年と比べると、8月は大幅に減少しました。

◎最高気温が10日間以上連続して平年を上回ったケース

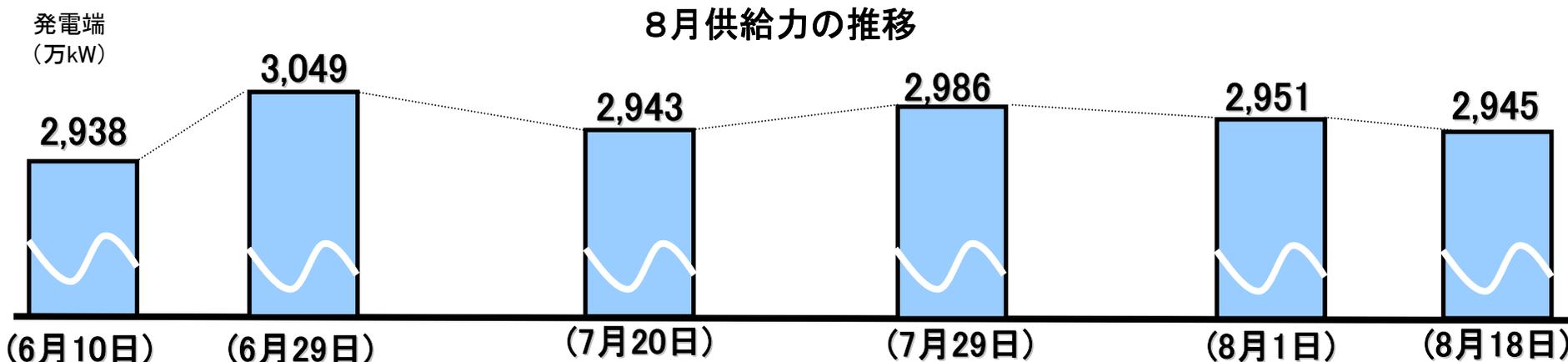
H22	17日間(8月15日～8月31日)、12日間(7月16日～7月27日)
H23	11日間(8月8日～8月18日)

- ・今年は高気温が連続するケースは11日間が最大であり、その発生時期もお盆を挟みました。

8月末までの供給力確保の取組みと8月供給力の推移

供給力確保の取組み

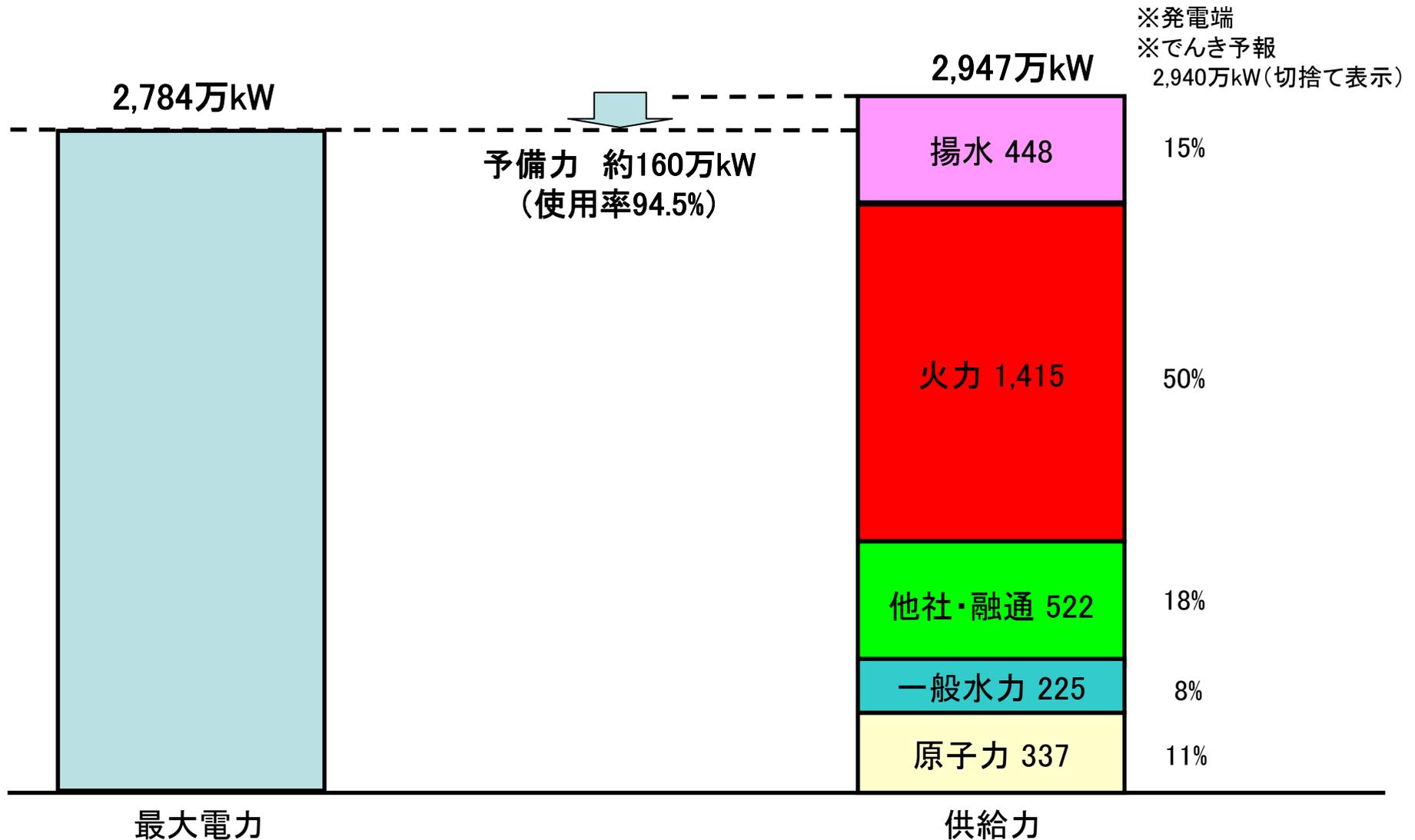
①	トラブル停止中火力発電所の早期復旧	復旧に向けた早急な点検・修繕の実施。(舞鶴発電所1号機)
②	自家発等からの電力調達	既契約者さまへの増量要請・一定規模の自家発設備保有のお客さまへの増発要請。
③	他電力からの応援融通の受電	他電力に対する応援融通の要請。
④	火力発電所の出力向上運転	環境面に配慮した出力向上運転の実施。
⑤	発電所の補修作業延期等	安全を最優先にした作業着手の延期や点検期間の短縮等の実施。



6月29日まで	万kW	7月20日まで	万kW	7月29日まで	万kW	8月1日まで	万kW	8月18日まで	万kW
①舞鶴火力1号機	+90	大飯原発1号機	▲118	③他社応援融通	+72	他事業者	▲35	堺港火力2号機	▲22
④火力出力向上	+10	⑤水力補修延期	+7	自家発調達	▲29	合計	▲35	②他事業者	+16
②自家発調達等	+11	他社応援融通	▲7	合計	+43			合計	▲6
合計	+111	②自家発調達等	+12						
		合計	▲106						

・大飯発電所1号機の計画外停止など発電機トラブルによる供給力の減少もありましたが、舞鶴発電所1号機の早期復旧や自家発等からの電力調達、他電力からの応援融通の受電などの供給力確保に努め、8月の供給力としては2,950万kW程度を確保することができました。

7月～8月末までの最大電力の発生日(8月9日)における供給力



- ・今夏、最大電力2,784万kWが発生した8月9日の供給力は2,947万kW、予備力は約160万kW(使用率94.5%)でした。
- ・電源構成の内訳は、原子力11%、一般水力8%、他社・融通18%、火力50%、揚水15%でした。